

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼっこクラブ2		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年2月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42人	(回答者数) 41人
○従業者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年2月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自閉症に特化(専門)した療育をエビデンスに基づいて支援している フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを実施し、支援計画に反映させている	職員研修の充実と参加 スタッフ間での支援方法や情報の共有 職員(支援員)全員でセッションの評価をPDCAサイクルで行っている 標準化されたツールを使用してアセスメントを行っている	各職員の自己研鑽をバックアップ 支援スキル向上のための体制強化
2	上記1をふまえて個々の児に合わせて支援を行っている 認知発達や社会性の発達に合わせてグループ編成で小集団の療育を行っている 視覚支援やスケジュールなどの一人ひとりの特性に合った環境調整(構造化)と支援を行っている	アセスメント結果から一人ひとりの特性や発達に合わせた環境設定や介入・支援等を行っている	スキルアップの研修実施 チームで支援にあたっている
3	保護者へのフィードバックや相談援助を毎利用時に行ない、また、勉強会や保護者間のコミュニケーションの機会を設けて保護者支援の充実を図っている	保護者勉強会を開催し、スケジュールについてやお子さんへのかかわり方等を学ぶ機会、また就学についての情報提供の機会を設けている その他、個別の相談援助のための担当職員を配置し、毎利用時に支援を行っている 傾聴スキル等の研修を実施	保護者同士の交流、意見交換ができる機会(イベント等)を積極的に作る 傾聴等のスキル向上をさらに充実させるための研修

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスがない	職員数、送迎車購入費用等	保護者が送迎しやすい時間等の設定に努める
2	職員の継続勤務	支援を充実させるために職員一人ひとりの業務負担が大きい 業務と報酬にアンバランス感が存在し、職員の生活状況等から継続が困難になることがある	業務の効率化を検討 職員のモチベーションアップやストレス軽減のための取組み 経営者と問題解決に取組む
3	週に1回の利用	地域のニーズからより多くの方に利用いただくために週1回の利用となっている	家庭でも取り組めるよう保護者へ支援方法を詳しく共有し、サポートを行う